

昭和四十三年九月二〇日

九三ーA B C D

コロナ「マークII」シリーズを新発売 現行車は改良を加え、大巾値下げで併売

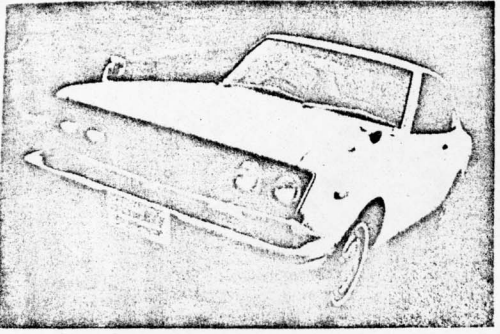
トヨタ自動車販売株式は九月二〇日、トヨベント・コロナの乗用車・商用車の新シリーズを三種として「マークII」を発売し、従来の「マークI」を改良し、併売する。また同時に、従来の「マークII」を改良し、併売する。この改良は、大巾な改良を加え、さらに四万円から三万円に値下げを施し、併売される。

コロナ「マークII」シリーズにはセダン、ハードトップ、S L、ワゴン、商用車のバン、ピックアップなどの各タイプがあり、乗用車に「マークII」の各エンジンが搭載される。

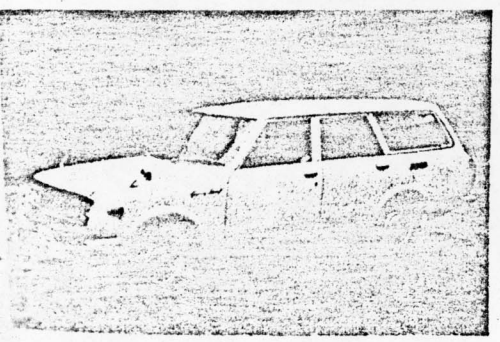
「マークII」シリーズの特長はつぎの通りである。

- (一) 躍動美にあふれ、近代的で流麗なスタイル。
- (二) ファミリーカーとして理想の広さ、ぜいたくさ、快適さを備えた室内、居住性。
- (三) 米国家安全基準をすべて充たし、さらにコロナ独自の対策を加えた四〇項目にのぼる安全設計。
- (四) すぐれた高性能、ハンドル、ブレーキ性能、行きとどいたベンチレーション・システムなどすぐれた数々の機能。
- (五) 各部の耐久性、サスペンション・フリーなど高度の信頼性。
- (六) ハイ・グレード車「マークII」シリーズなど一二車種五二タイプにおよぶワイド・バリエーションのいつせい発売。
- (七) わが国で初めて「マークII」というユニークな名称を採用した。
- (八) 「マークII」シリーズはその画期的な内容にもかかわらず、従来のコロナ「マークI」シリーズを下回る新価格を設定した。

国内外で圧倒的な好評を博したトヨベント・コロナが日本のファミリーカーの決定版であるとすれば、今回の「マークII」シリーズの発売は、いわば世界のファミリーカーの理想を追求した、ともいうべき意図をもつている。居住性・高性能・安全性・装備の豪華さなどについては同クラスの諸外国車をしのぎ、文字どおりの国際的なファミリーカーといえる。



強い獅子の力強さを感じさせる
コロナ「マークII」ハードトップ (RT70-K)



早く快適なオールラウンドカー
コロナ「マークII」バン・デラックス (RT67V-FD)

[illegible]

一五〇〇シリーズに比し、全長で一七〇 $\frac{mm}{mm}$ 、全巾五五 $\frac{mm}{mm}$ 、ホイールベ
ースは九〇 $\frac{mm}{mm}$ それぞれ長くなり、全高は一五 $\frac{mm}{mm}$ 低い。
長く・広く・低いスタイルである。特にデザインにあたつては、躍動
的で近代的な美しさを目指すとともに、コロナ・シリーズの一員とし
て、好評を得てきたアローラインのイメージをいかにこの車に生かす
かに苦心した。

フロント、リヤ、サイドウインドウともにカーブド・ガラスを用い、
ボディ全体を微妙なニュアンスのある曲面で構成している。

フロントには樹脂グリルを採用、精悍な風ほうを与えらるとともに、リ
ヤはコックボトル、ファストバックの傾向をとりいれた。また、セダ
ンとハードトップのスタイリング上の差異を従来以上に大きくした。

バン、ワゴンにはルーフにアクセントをもたせ、リヤ・ドアは大きく
円味をもだせている。

全車を通じ、サイドの大きなベンチレーション・ルーバーと、艶消し吸

で雨どいを隠し風切音を失くしたフロントビラーの仕上げが特長的である。ボデー・カラーは運動的なココナ「マークⅡ」の性格に合わせ、室内をデパートにしたブライアントカラー。明るく豪華な色調を損え、室内をこの調子を元々配した。

□すぐれた居住性

今回の「マークⅡ」シリーズの開発にあたり、特に力点を置いた。国際的にみても、このクラスでは充分すぎるほどの室内寸法、ぜいたくすぎるほどの装備と雰囲気を与えた。

◎室内は小型車・中間車種を通じ最大の広さをもっている。「マークⅡ」セダンの室内全長は八〇%長く、全巾で四五%も大きい。カーブド・ガラスの採用から有効スペースはさらに広く、レック・ルームも余裕たつぶりである。センタービラーは一五〇〇セダンより八〇%後方に移動しており、ドア開口部は広く、出入りがきわめて容易である。◎リヤ・シートの両端にタイヤえぐりはなく、シートバックは大きく傾斜し、中型車なみに三人がゆつたりとかけられる。

フロント・シートは上下二段切替えできる。ハードトップの助手席はウオーニン構造である。またシートは若干背を高くし、シート背縁の中央・サイドを凹ませ視界を確保するとともに、背当りを凹ませてホール・よくし、疲労を減じる独特の設計となつている。マークⅡシリーズは、後席にはセンター・アームレストを設けた。ヘッドレスト取付、車に装備され、ヘッドレスト本体は独特な背面受圧面積が大きく、小ぶりで、充分な視界を確保した構造である。

◎インストルメント・パネルは全面厚いソフトパッドで覆われ、豪華でしかも適切な計器配置である。ステッチで縁どられたグラブボックス回りや、ステアリング・パッドの押型模様、華麗なコンソール・ボックス、パワー・ウインドウ機構、三針時計、オートアンテナ付サッチ・ラジオなどオーナーがこれ以上望む計、のほもないといえる内装である。

◎高速道路の走行、市街地でのノロノロ運転、あらゆる状況に最適なベントレーションが得られるよう、各種の配慮を徹底した。外気をこのクラスで初めてのブースト・ベンチレーターを採用した。外気を強制導入し、風量を三段切替えできる強力な機構で、停車時にも涼風が得られる。フロント両端のセカンダリー・ベンチレーターは上下両面に開孔しており、室内にまんべんなく外気を導入できる。クーラー・ユニットもグラブ・ボックスを犠牲にせず簡単に取付けられ、冷風はヒーター・ブローにより室内に送り込まれる。ヒーターとクーラーを組み合わせて、エア・コンディショナーとして使用できる。マークⅡSにはデフォッガーも装備された。

□安全設計

「マークⅡ」シリーズは開発のスタート時から徹底して安全を追求した最初の車である。開発途上、米国での安全論争がクローズアップされたが、米国安全基準すべてを充たすほか、独自の安全対策を加え、四〇項目におよぶ高度の安全対策が施されている。◎ボデー全体が剛性の高いユニフレム構造であるが、キャビンには特に強化され、フロントとリヤ部で衝撃吸収エネルギーを吸収する。また、このクラスでは初めて衝撃吸収のクラブ・ブル・バンドルを採

前後輪引系統式のタンデム・マスター・シリンドラーも新しく装着され、ブレーキつきディスク・ブレーキ、後輪ロック防止のP.C.V.とある。また、ブレーキ機構は二重・三重に安全となつた。インストルメント・パネルは見やすいパノラミック形状で、しかも万の場合、厚いパッドとパネルの構造が衝撃を吸収する。その他、計器盤下部、アンダートレイ、シートバックに安全パッドをサイド・ブレーキに軟質材を用い、各種スイッチ、ノブ類、等すべての実出部は衝突範囲の奥に配置した。また、ステアリング・コックやウインドウ・ウォンジャーも全車標準装備された。防眩式・脱落式バックミラー、フレキシブル・フエンドミラー、専用ヘッドレスト、独特なシート形状と構造、巻取装置つき三点シートベルト、埋込式の内外ドアハンドル、ゼブラゾーンの広い部分強化ガラス、リヤウインドウ・デフォッガー、サイド・リフレクター、室内にとり入れられ別系統式のヒューズ・ボックスなど、ほとんど完全なまでの対策が施されている。機能面、たとえばすぐれた加速性・高速安定性、行きとどいたベンチレーション機構あるいは防音材・防振対策の徹底による無類の静粛さなどは、この車をさらに安全にしている。

四 高速走行性能とすばらしいフイーリング

強大なエンジン性能による高速性能、乗車時のフイーリングの飛躍的な向上、ブレーキ、ステアリング関係の新技術、イージー・ドライブへの配慮など「マークⅡ」シリーズは高速時代の要求に完全にマッチした車である。

◎エンジンはゴルデン・シリーズに今春採用され、重厚な加速感で定評ある7R型およびその高速タイプ7R1B。

7Rをベースにストロークを増し、総排気量を二ヘンccにアップした8Rおよびその高速タイプ8R1B。

そして一部商用車に長い歴史と信頼性のある2Rエンジンの改良型を搭載した。いすゞの強力な出力とトルクをもち、高速加速、市街地での低速走行にもフレキシブルな性能を発揮する。

◎ボデーのロール剛性が高く、高速時のレイン・チェンジにも、きわめて安定している。ステアリングに新採用のリサー・キューレーティング・ボール、あるいはバリアブル・レシオを備え、さらに高速時の車のホールディングを高めている。

◎フロント・サスペンションの新設計ストラットバー付きウィッシュボーン型独立懸架、メンバーとボデー取付部のラバー・マウント、ロア・アーム固定点のラバー・ブッシュ、キャビンを完全に外部騒音から遮断した防音処理など、振動・騒音への対策が徹底し、すばらしい乗心地が得られる。

◎タンデム・マスター・シリンドラー、ブリストル付きディスク・ブレーキ、後輪ロック防止のP.C.V.装置などの大巾採用。

◎四速フロア、三段コラム、二速トヨグライドの他、新たに三速フロアトヨグライドが採用された。

◎大きく・広いボデーや室内にもかかわらず、最小回転半径は四・八五米。かえって、ほとんどの小型車より駐車や操車が楽な設計となつている。

◎上下対象形のキー、ワンタッチ操作の三角窓ロック、ワイパーとウォッシャー・スイツチのステアリング・コラムへの取付けなど、イージー・ドライブへの配慮がきわめて行き届いている。

